

開催案内

第6回電子光技術シンポジウム

産業技術総合研究所（産総研）電子光技術研究部門では、電子技術と光技術、およびその融合領域に関心を寄せられる方々へ、最先端の研究開発と新産業創出の展望に関する情報提供と、同研究部門を中心とする産総研の研究成果を紹介することを目的として、当協会との共催で、毎年度、電子光技術シンポジウムを開催しております。本年度は「光技術の医療・ヘルスケアへの展開」をテーマとしてシンポジウムを開催致します。

安全安心で持続可能な社会の実現には、医療分野と工学の連携による新たな診断、治療、ヘルスケア機器の開発が必要不可欠です。広帯域性、低侵襲性、空間並列性を特徴とする光技術は、イメージング機器として医療現場で広く活用されるとともに、その特徴を生かした新たな医療・ヘルスケア機器を創出することが期待されています。本シンポジウムでは、医工連携の現状と展望、光技術を利用した低侵襲の治療技術、新たなデバイス、手法に基づくイメージング・センシング技術に関して、最先端の研究開発を展開されている講師の方々にご講演頂くとともに、産総研の研究開発成果をご紹介します。

当該分野に関心をお持ちの皆様との有意義な議論ができますことを期待しております。是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。（https://unit.aist.go.jp/esprit/image/ESPRIT_Symposium6_V3.pdf）

開催要領

- (1) テーマ：「光技術の医療・ヘルスケアへの展開」
- (2) 日時：2017年2月28日（火） 10:00～17:30（9:30 受付開始）
- (3) 場所：秋葉原 UDX カンファレンス（<http://www.udx-c.jp/access.html>）
- (4) 定員：200名
- (5) 主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 電子光技術研究部門
- (6) 共催：一般財団法人光産業技術振興協会
- (7) 参加費：無料、懇親会は4,000円（PRONTO IL BAR UDX アキバ・イチ店）
- (8) プログラム：次頁ご参照
- (9) 参加申込・問合せ先：参加ご希望の方は、下記項目をご記入の上、

esprit-symposium2016-ml@aist.go.jp、または、Fax 029-861-5627 にお申込下さい。

-
1. ご氏名（ふりがな）
 2. 勤務先（ご所属）
 3. 連絡先（TEL）
 4. E-mail
 5. 懇親会（参加・不参加）
 6. 備考（連絡事項）
-

【申込締切：2017年2月24日（金）】定員になり次第締切らせて頂きます。お早目にお申込下さい。

第6回電子光技術シンポジウム プログラム

(敬称略)

10:00 ～10:20	【開会挨拶】	産業技術総合研究所 エレクトロニクス・製造領域 領域長 金丸正剛 光産業技術振興協会 専務理事 小谷泰久
10:20 ～11:05	【招待講演】 医工連携（仮）	産業技術総合研究所 健康工学研究部門 副研究部門長 鎮西清行
11:05 ～11:50	【招待講演】 光を用いた生体計測 ー細胞から個体までー	浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 主幹 山下豊
11:50 ～12:10	光パズネットワークによる超高精細映像 伝送とその医療応用	産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 黒須隆行
12:10 ～13:30	昼休み	
13:30 ～14:15	【招待講演】 レーザーによる革新的な非熱的不整脈治療 装置：我が国発技術の実用化	慶應義塾大学 理工学部 物理情報工学科 教授 荒井恒憲
14:15 ～14:35	低侵襲プラズマ止血装置と国際標準化	産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 榑田創・池原謙
14:35 ～14:55	超短パルスレーザー加工と人工関節への 応用	産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 屋代英彦
14:55 ～15:15	白色パルス光プロセスと無電解めっきを 利用した手術器具作製	産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 島田悟
15:15 ～15:35	休憩	
15:35 ～16:20	【招待講演】 マルチスペクトル撮像デバイス技術	オリンパス株式会社 モバイルシステム開発本部 光センサ技術部 部長 溝口豊和
16:20 ～17:05	【招待講演】 医療・バイオ分析応用を目指す高機能材料 集積型マイクロ分析デバイス	大阪府立大学 大学院工学研究科 物質・化学系専攻 教授 久本秀明
17:05 ～17:25	近接場光を利用した微生物高感度検出	産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 安浦雅人
17:25 ～17:30	【閉会挨拶】	産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 研究部門長 森雅彦
17:45～	懇親会	